

2025 年度（令和 7 年度）研究業績「誌上発表」

1. Akiko Okamoto a), Teppei Okamoto b), Takaki Ichiyama b), Takafumi Fukushima b), Sosuke Omizo b), Himawari Asanuma b), Hiroyuki Sato b), Hisashi Sakurai b), Anna Yoneyama b), Fumiya Yoneyama b), , Noritaka Ishii b), Takuya Oishi b), Ryuma Tanaka b), Hikari Miura b), Tomoko Hamaya b), Hirotake Kodama b), Naoki Fujita b), Hiromi Murasawa a), Hayato Yamamoto b), Atsushi Imai b), Hisao Saitoh a), Shingo Hatakeyama b), Chikara Ohyamab) & Tadashi Suzuki a) 【題名】 The long-term impact of mild COVID-19 on cardiovascular disease and mortality in patients on hemodialysis a post-Omicron era retrospective observational study 【雑誌名】 RENAL FAILURE, 2025, VOL, 47, NO. 1, 2512053, Published online: 02 Jun 2025. 【所属】 a)Department of Urology, Oyokyo Kidney Research Institute Hirosaki Hospital, b)Department of Urology, Hirosaki University School of Medicine, Hirosaki, Japan
2. Ozaki K, Yoneyama T, Kubota Y, Yoneyama MS, Nonaka M, Suzuki T, Tanaka R, Ohyama C, Hatakeyama S. 【題名】 Annexin A1-Targeted d-Peptide-Monomethyl Auristatin E Conjugate Enhanced Antitumor Effect of Monomethyl Auristatin E for Chemotherapy of Prostate Cancer. 【雑誌名】 Prostate. 2025 Sep;85(13):1208-1221. doi:10.1002/pros.70007. Epub 2025 Jul 6.PMID:40619855n
3. Shigeru Tsuboi¹, Misaki Sato¹, Tadashi Suzuki², Chikara Ohyama³, Shingo Hatakeyama⁴ 【題名】 A hepcidin-binding peptide ameliorates anemia of chronic kidney disease in a mouse model 【雑誌名】 blood RCI, Volume 1, Issue 3, December 2025, 100033, <https://doi.org/10.1016/j.brci.2025.100033> 【所属】 1Department of Cancer Immunology and Cell Biology, Oyokyo Kidney Research Institute, Hirosaki, Japan, 2Department of Urology, Hirosaki Hospital, Oyokyo Kidney Research Institute, Hirosaki, Japan, 3Department of Advanced Transplant and Regeneration Medicine, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki, Japan, 4Department of Urology, Hirosaki University Graduate School of Medicine, Hirosaki, Japan

2025 年度（令和 7 年度）研究業績「学会発表」

1. 小湊純史 【演題名】 エコーガイド下穿刺の指導マニュアルの作製から実施まで 【学会・研究会名】 第 35 回日本臨床工学会 【開催場所】 大阪市；グランキューブ大阪（大阪国際会議場） 【開催期間】 2025 年(令和 7 年)5 月 17-18 日
2. 戸舘久美子、小田桐繭美、小野由香、赤石佐知子、蔦谷知佳子、川崎 忍、鈴木唯司 【演題名】 当院における 10 年以上経過した透析患者の現状と今後の課題 【学会・研究会名】 第 48 回青森人工透析研究会 【開催場所】 弘前市：弘前文化センター 【開催期間】 2025 年(令和 7 年)6 月 1 日 【発表形式】 口演
3. 柴田 薫、岩渕久美子、川崎 忍、齋川 友、大沢 弘、齋藤久夫、鈴木唯司 【演題名】 骨折に対するリハビリテーションを実施した外来血液透析患者の傾向 【学会・研究会名】 第 48 回青森人工透析研究会 【開催場所】 弘前市：弘前文化センター 【開催期間】 2025 年(令和 7 年)6 月 1 日 【発表形式】 口演

4. 齋川 友、川崎 忍、柴田 薫、岩渕久美子、大沢 弘、鈴木唯司【演題名】透析日と非透析日の違いによる透析患者の嚥下機能評価と関連する項目について【学会・研究会名】第48回青森人工透析研究会【開催場所】弘前市：前文化センター【開催期間】2025年(令和7年)6月1日【発表形式】口演
5. 村澤洋美、大溝奏佑、米山安那、佐々木大地、小島由太、岡本亜希子、齋藤久夫、鈴木唯司、畠山真吾【演題名】人工血管と近傍の自己静脈に瘻孔を形成した一例【学会・研究会名】第48回青森人工透析研究会【開催場所】弘前市：弘前文化センター【開催期間】2025年(令和7年)6月1日【発表形式】口演
6. 平館和子、杉山佳恵、長南志保、田村美香子【演題名】がん終末期で血液透析を選択した患者の一例【学会・研究会名】第48回青森人工透析研究会【開催場所】弘前市：弘前文化センター【開催期間】2025年(令和7年)6月1日【発表形式】口演
7. 細越正吾、田中芳美、杉山尚樹、高橋伸也、齋藤文匡、鈴木唯司【演題名】陰茎壊死を発症した維持血液透析患者の一例【学会・研究会名】第48回青森人工透析研究会【開催場所】弘前市：弘前文化センター【開催期間】2025年(令和7年)6月1日【発表形式】口演
8. 戸館久美子、小田桐繭美、小野由香、赤石佐知子、蔦谷知佳子、川崎 忍、鈴木唯司【演題名】当院における10年以上経過した透析患者の生存要因の検討と今後の課題【学会・研究会名】第70回日本透析医学会学術集会・総会【開催場所】大阪市：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル・NCB会館ABCホール・堂島リバーフォーラム【開催期間】2025年(令和7年)6月27-29日【発表形式】デジタルポスター
9. 田口 泉、小崎牧子、山田知枝、福井智美、川崎 忍、赤石佐知子、鈴木唯司【演題名】後遺症をかかえ退院をめざす透析患者の看護を経験して【学会・研究会名】第70回日本透析医学会学術集会・総会【開催場所】大阪市：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル・NCB会館ABCホール・堂島リバーフォーラム【開催期間】2025年(令和7年)6月27-29日【発表形式】デジタルポスター
10. 川崎 忍、柴田 薫、齋川 友、岩渕久美子、大沢 弘、鈴木唯司【演題名】血液透析患者における体組成と栄養指標の経時的変化に関する検討【学会・研究会名】第70回日本透析医学会学術集会・総会【開催場所】大阪市：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル・NCB会館ABCホール・堂島リバーフォーラム【開催期間】2025年(令和7年)6月27-29日【発表形式】口演
11. 蔦谷知佳子、大沢 弘、川崎 忍、柴田 薫、岩渕久美子、齋藤久夫、鈴木唯司【演題名】生体電気インピーダンス法(BIA法)によるドライウエイト(DW)算出の試みとその有用性【学会・研究会名】第70回日本透析医学会学術集会・総会【開催場所】大阪市：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル・NCB会館ABCホール・堂島リバーフォーラム【開催期間】2025年(令和7年)6月27-29日【発表形式】デジタルポスター
12. 山谷金光、蔦谷知佳子、佐藤美紗季、齋藤久夫、畠山真吾、鈴木唯司【演題名】血液透析患者(HDP)における血中微量元素濃度と生命予後について【学会・研究会名】第70回日本透析医学会学術集会・総会【開催場所】大阪市：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル・NCB会館ABCホール・堂島リバーフォーラム【開催期間】2025年(令和7年)6月27-29日【発表形式】デジタルポスター
13. 齋藤久夫、米山安那、大溝奏佑、小島由太、岡本亜希子、鈴木唯司【演題名】S状結腸穿孔に

- 対して緊急開腹術を施行し救命しえた維持血液透析患者の1例【学会・研究会名】第70回日本透析医学会学術集会・総会【開催場所】大阪市：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル・NCB会館ABCホール・堂島リバーフォーラム【開催期間】2025年(令和7年)6月27-29日【発表形式】デジタルポスター
14. 小島由太、米山安那、大溝奏佑、佐々木大地、岡本亜希子、齋藤久夫、鈴木唯司【演題名】当院における維持透析患者に対するウパシカルセットの使用経験【学会・研究会名】第70回日本透析医学会学術集会・総会【開催場所】大阪市：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル・NCB会館ABCホール・堂島リバーフォーラム【開催期間】2025年(令和7年)6月27-29日【発表形式】デジタルポスター
 15. 田中芳美、杉山尚樹、高橋伸也、齋藤文匡、鈴木唯司【演題名】当院にてベアメタルステント(BMS)留置術を施行した4例の検討【学会・研究会名】第70回日本透析医学会学術集会・総会【開催場所】大阪市：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル・NCB会館ABCホール・堂島リバーフォーラム【開催期間】2025年(令和7年)6月27-29日【発表形式】デジタルポスター
 16. 工藤仁美、佐藤真樹子、浅田輝美、加藤千順、齋藤文匡【演題名】脊髄障害患者のPD導入支援【学会・研究会名】第70回日本透析医学会学術集会・総会【開催場所】大阪市：大阪国際会議場・リーガロイヤルホテル・NCB会館ABCホール・堂島リバーフォーラム【開催期間】2025年(令和7年)6月27-29日【発表形式】デジタルポスター
 17. 三上ひとみ、鈴木陽子、内山寿美、中村育代、赤石佐知子、鈴木唯司【演題名】独居高齢者の血液透析導入後に直面する問題への取り組み【学会・研究会名】第51回東北腎不全研究会学術集会【開催場所】郡山市：ビッグパレットふくしま【開催期間】2025年(令和7年)9月13-14日【発表形式】ポスター
 18. 小湊純史 1)2)、野村和生 1)、石川賢人 2)、大村 誠 1)、齋藤文匡 1)、鈴木唯司 2)【演題名】透析現場における穿刺教育の標準化に向けたAI活用の取り組み【学会・研究会名】第51回東北腎不全研究会学術集会【開催場所】郡山市：ビッグパレットふくしま【開催期間】2025年(令和7年)9月13-14日【発表形式】ポスター【所属】1)公益財団法人鷹揚郷腎研究所青森病院、2)公益財団法人鷹揚郷腎研究所弘前病院
 19. 杉山尚樹、細越正吾、田中芳美、高橋伸也、齋藤文匡、鈴木唯司【演題名】慢性腎臓病患者の貧血精査で診断された多発性骨髄腫の一例【学会・研究会名】第51回東北腎不全研究会学術集会【開催場所】郡山市：ビッグパレットふくしま【開催期間】2025年(令和7年)9月13-14日【発表形式】ポスター
 20. 細越正吾【演題名】膀胱全摘術における術前化学療法前のmaximal TURBTは腫瘍学的アウトカムを改善するか？【学会・研究会名】第39回日本泌尿器内視鏡・ロボティクス学会総会【開催場所】東京都：京王プラザホテル【開催期間】2025年(令和7年)10月30日-11月1日
 21. 川崎 忍、岩渕久美子、佐藤佑紀、齋川 友、柴田 薫、大沢 弘、齋藤久夫、鈴木唯司【演題名】血液透析患者における下腿周囲長と筋肉量、栄養指標に関する検討【学会・研究会名】第16回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会【開催場所】久留米市：久留米シティプラザ【開催期間】2026年(令和8年)3月14-15日【発表形式】ポスター
 22. 岩渕久美子、柴田 薫、川崎 忍、齋川 友、佐藤佑紀、大沢 弘、齋藤久夫、鈴木唯司【演題名】人間作業モデルを用いた意欲低下患者への介入—獅子踊りを通じた作業同一性の再構築

【学会・研究会名】第16回日本腎臓リハビリテーション学会学術集会【開催場所】久留米市：
久留米シティプラザ【開催期間】2026年(令和8年)3月14-15日【発表形式】ポスター